

## 新潟県小学校教育研究会 長岡市三島郡国語科研究部の活動

県小教研長岡市三島郡国語科研究部長

長岡市立富曾亀小学校長 飯田 満

長岡市三島郡国語科研究部は、長岡市三島郡学校教育研究協議会の一部会であり、小学校部会、中学校部会の2部会よりなる小中合同部会である。例年、授業研究会（小中交互に実施）と講演会を同日開催し、年度末には、会員全員の研修報告を冊子にまとめている。

今年度は、重点教科に指定されたため、講演会と授業研究会を別の日に設定し、講演時間、協議や交流の時間を十分に確保して研修の充実に努めた。

### ◎ 平成 23 年度の活動

- ・会員数 小学校部会 88 名、中学校部会 61 名 計 149 名
- ・組織 会長 1 名、副会長 4 名、会計監査 2 名  
常任委員 18 名（小学校 12 名、中学校 6 名）、事務局（東北中学校） 4 名
- ・研究主題 言語に関する関心・理解を深める授業～「伝統的な言語文化」の指導法を中心に～
- ・年間予定

会議名	開催日	内容	会場
総会	4月22日(金)	事業・決算報告、役員選出、事業・予算計画等	市立劇場
第1回常任委員会	7月8日(金)	研修の進め方等について	東北中学校
第2回常任委員会	9月6日(火)	講演会準備、授業研究会案検討	東北中学校
講演会	9月6日(火)	講演及び意見交換	東北中学校
授業研究会	11月8日(火)	公開師範授業・指導者講話	富曾亀小学校
会計監査委員会	2月1日(火)	会計監査	東北中学校
第3回常任委員会	2月16日(水)	年度のまとめ、次年度計画等	教育センター

### ◎ 講演会、授業研究会の概要

- ・講演会（日時；9月6日 13:30～ 会場；東北中学校 参加者数：71名）

講演と講演を聴いての意見交換会を実施。

講師は、北原保雄筑波大学名誉教授。演題は、「日本語の主語」。

講演では、「言葉についての規範を教えよ」「主語にはいろいろある。指導者として、意味上の主語（論理主語）と文法主語の区別をつけて指導にあたるのが重要である」等のお話をいただいた。

意見交換会では、8グループに分かれて講演の感想や授業での工夫点等について意見を出し合った。「省略主語について」「文法学習について」「講演内容の授業への生かし方について」「主述のよじれた文を作る生徒への指導方法について」等の質問が出された。講師からは、「文法学習のための継続指導の時間がない。一点豪華主義でよい。頭の中で系統的に整理し、適切な場面できちんと指導すること。指導者が興味を持続せよ。」「文のよじれは、内容が呼応できていないために起こる。長文は、重文、複文になりやすい。特に複文はよじれやすい。長文をほぐしてやり、なるほどと思わせること。」「楽しく教えるということは、印象的な文や文章で具体的に教えることだ。」等のお話をいただいた。

- ・授業研究会（日時；11月8日 14:05～ 会場；富曾亀小学校 参加者数：73名）

公開師範授業、協議会及び授業者による講話を実施。授業者は、谷和樹玉川大学准教授（3年3組で授業）と佐藤佐敏新潟大学准教授（5年4組で授業）。

谷准教授からは、3年生「言葉のいずみ1 漢字のでき方」を、佐藤准教授からは、5年生「短歌・俳句を作ろう」の授業を、師範していただいた。

いずれも新学習指導要領の趣旨を生かした、テンポのよいリズムのある授業であり、子どもの心をつかんだ授業を公開していただいた。

協議会では、日頃の授業の反省と今後の授業への反映について熱い協議が行われた。

授業後の講話では、本時の授業の主旨と新学習指導要領における「伝統的な言語文化」の指導法について分かりやすくご指導いただいた。